

各 位

会 社 名 株式会社ブロードバンドタワー
代 表 者 名 代表取締役 会長兼社長 CEO 藤原 洋
(コード番号 3776)
問 合 せ 先 常務取締役 法務・経理統括 中川 美恵子
(TEL. 03 - 5202- 4800 代)

特別損失の計上及び通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 6 月期（平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）決算において、下記のとおり固定資産の減損損失を計上するとともに、平成 29 年 12 月 13 日に公表しました通期業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 固定資産の減損損失について

データセンターサービス、クラウドサービスをはじめ当社グループが提供するサービスについては、価格競争等の影響を受け、これらのサービスを取り巻く環境は厳しい状況が続いております。このような事業環境下、今後の収益を予測した結果、将来において設備投資の回収が困難な見込みである一部のサービス設備について、旧式設備もあることから、減損処理をすることといたしました。減損損失は、個別決算において、データセンターサービス設備（千代田区：第1サイト、目黒区：第3サイト、江東区：第5サイト）361百万円、クラウドサービス設備36百万円、データ・ソリューションサービス設備9百万円の合計407百万円を計上いたしました。連結決算においては、個別決算の計上額に加え、連結子会社のデータ放送用設備等で9百万円を計上したことにより416百万円を計上いたしました。

2. 差異が生じた理由について

（個別業績）

売上高はデータソリューションの売上げが前回発表予想を上回ったことによるものです。経常利益は、売上高の増加に伴う利益の増加に加え、費用対効果を考慮した効果的な支出に努め、広告宣伝費、外部業務委託費等の費用が減少したため前回発表予想を上回りましたが、当期純利益については、上記に記載した特別損失の計上により前回発表予想を下回る結果となりました。

（連結業績）

売上高は IoT スクエア等の連結子会社が前回発表予想を下回ったことによるものです。また、営業利益、経常利益については、連結子会社の売上高が前回発表予想を下回ったこと、開発投資が先行していること等により前回発表予想を下回りました。親会社株主に帰属する当期純利益については、経常利益が下回ったことに加え、減損損失の計上もあり、前回発表予想を下回る結果となりました。

(1)平成 30 年 6 月期 通期個別業績予想値と実績値との差異（平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,420	百万円 △108	百万円 480	円 銭 9.40
実績値 (B)	7,560	121	295	5.78
増減額 (B-A)	140	230	△185	
増減率	1.9%	—	△38.4%	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 6 月期)	7,388	94	744	14.59

(2)平成 30 年 6 月期 通期連結業績予想値と実績値との差異（平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,980	百万円 △46	百万円 60	百万円 104	円 銭 2.04
実績値 (B)	10,731	△80	△20	△330	△6.45
増減額 (B-A)	△248	△34	△81	△434	
増減率	△2.3%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 6 月期)	38,987	846	767	427	8.37

以 上